

移 植

Q 10 I型糖尿病から腎不全となり透析を受けている48歳の男性です。腎臓移植は可能でしょうか。膵臓も一緒に移植したほうがよいと聞きましたが、日本でも可能でしょうか。

A 10 最も好ましい治療方針は腎臓と膵臓を同時に移植することです。技術的にみても、経験からもわが国では可能ですが、その際には、腎臓よりも膵臓の移植が問題となります。腎臓は、心臓が停止した後に摘出して移植した場合でも生着が期待できますが、膵臓は脳死判定後の摘出が基本となります。

しかし、脳死状態での献腎の機会は、ご存知のように極めて少ないのが現状です。血縁者から膵臓の一部と、片方の腎臓も同時に

提供していただく生体膵腎同時移植は可能であっても、まだ一般化していません。もし、膵臓の移植ができなくても、腎臓だけの移植を行うことは、透析治療を継続するよりもはるかに優れた治療です。

I型糖尿病であるために、腎臓のみの移植は血糖管理に困難を伴うことは事実ですが、最近のインスリン治療の進歩は目覚ましいので、腎臓移植のみでも受ける方向を選択することをお勧めします。

(川口良人／神奈川県立汐見台病院・医師)

